あおもり漁遊

代表理事会長 植村正治 書

資源有限漁業無限







十三湖ヤマトシジミ

シジミ操業風景

CONTENTS

県内系統・関係機関 年頭ごあいさつ	····· 1~5
全国系統団体 新年ごあいさつ	···· 6~10
エチゼンクラゲによる被害対策に係る要請	11
エチゼンクラゲに係る現地被害調査	11
木村農林水産大臣政務官 クラゲ被害状況調査	11
県知事及び県議会議長へ要請	12
青森県漁業信用基金協会50周年記念式典	13
平成15年度漁協運動功労者表彰式	14
水産業協同組合の業務報告書基準様式一部改正に伴う説明会	15
JF経営動向把握システム導入について ····································	15
第31回「海をきれいにする運動」応募作品審査発表	···· 16~18
主な水産に関する動き (10~12月)	19
県内漁協紹介(十三漁協、脇元漁協)	20

2004 1

第 31 海をきれいにする運







青い海

守って育てる たの漁業

標語の部 特選 第一田名部小学校 5年畑中 潤

祈念申し上げます。



図画の部小学校 特選 久栗坂小学校 2年 柳谷あいり

図画の部中学校 特選 三厩中学校 3年 栁谷



ポスターの部小学校 特選

平舘小学校 1年 えびなよういちろう



ポスターの部中学校 特選 三厩中学校 1年 成田裕人

います。 新年あけましておめでとうござ あ ح

係各団体長様よりご挨拶をいた二〇〇四年の年頭にあたり、 ては、希望に満ちた新春を迎えら漁業関係者の皆様におかれまし き厚くお礼申し上げます。 れたことと思います。 た だ関

内容を充実させ、皆様から親し一層、漁業に関する情報誌とし い致します。 康と操業の安全、 ますので、今後ともよろしく れるよう心掛けて参りたいと思 最後に、 今年も「あおもり漁連」 漁業関係 係者各位のご健 大漁を心からご をよ お 願いま 7 り

を方一丁目 1 番32号 TEL 017-722-◆印刷◆ 不二印刷工業㈱ TEL 017-741-5439

代表理事会長

植

村

正

治

青森県漁業協同組合連合会

年のお慶びを申し上げます。 皆様、そして常日頃漁協の業務運営に奮闘 されておられます役職員の皆様に謹んで新 平成十六年の新春を迎え、県内漁業者の

は大打撃を受け漁家及び漁協は懸命な努力 貝の斃死、 損傷及びポリドラ被害、更には、 大量発生、又、むつ湾東部海域では、 よるするめいかの不振、エチゼンクラゲの 漁業施設等の被災、そして海水温の変動に の天候不順・しけ等によりほたて外套膜の さて、昨年は、台風十四号による漁船や 成貝の価格低迷等により漁業者 ほたて稚 長期

にも係らず、

大変厳しい経営を余儀なくさ

そして、下水道整備を積極的に推進する

れました。

新年あけましておめでとうございます。

は本県の基幹産業として地域経済を支える 重要な役割を果たしております。。 このような大変厳しい環境の中で、 漁業

民の食料として、安全・安心に努め良質な 健康を守る大きな役割を果たしており、国 なければなりません。 水産物を将来に亘り安定的に供給して行か 又、水産物も優良な蛋白源として国民の

に努めていかなければなりません。 漁獲方法を構築し、 の適切な管理保存を持続しながら資源回復 そのためには、官民一体となり秩序ある 漁業者による水産資源

> であり、緊急の課題であります。 村との交流が盛んになっていくことが重要 活用が容易になると同時に、都市住民と漁 セス整備により高度医療施設や文化施設の されると同時に海が浄化され、更にはアク ことにより衛生的で快適な生活環境が維持

の合理化・合併等により自立漁協の確立を 盤を築いていかなければなりません。 を強化し、将来にわたって安定した経営基 推進し、組合員の経営と生活を支える事業 方、漁協経営においては、自らも経営

邁進しようではありませんか 住み良い明るい漁業・美しい漁村づくりに 無限をモットーに、更なる努力をしながら、 強固な団結力をもって漁協の発展と豊かな このような中において、資源有限・漁業

といたします。 心からお祈りいたしまして、 皆様のご健勝とご繁栄並びに海上安全を 新年のご挨拶



代表理事会长 古 川青森県信用漁業協同組合連合会

す。 たちに心から新年をお祝いしたいと思いま タ年こそはとの強い希望を胸に、浜の皆様と 事いまここに新たな平成十六年を迎え、今 見新年あけましておめでとうございます。 全

り全国漁業者集会を開催いたしましたが、漁連のリーダーシップのもとに二度にわたなっており、日本提案の実現を求めて、全交渉は一朝一夕にはいかない大きな問題と私達漁協系統にとっては、WTO水産物

全国の漁業者が交渉の行方を切実な思いで全国の漁業者が交渉の行方を切実な思いでを国の漁業者が交渉の行方を切実な思いでを回ります。

より、この難局を乗り越えて参りたいと考れたものの、ほたて養殖漁業における斃死、 台風第十四号による漁船等損壊、 大量襲来 台風第十四号による漁船等損壊、 大量襲来 かし、 かかる状況においても資源管理の旗を降ろすことなく、 会員皆様の力の結集に を降ろすことなく、 会員皆様の力の結集に 一方、本県の漁業状況を見ますと、 春先

俊と

して、よろしくお願い申し上げ、御挨拶と 援を賜りますよう、 何卒、平成十六年も変わらぬ御愛顧・ りますことをお知らせいたしますとともに、 しては、平成十五年度は順調に進捗してお しております本会の経営改善計画につきま びに行政の多大なる御協力をいただき実行 組合員の皆様の御理解と漁協、関係団体並 金運用を図っていく所存であります。 含めコンプライアンスを遵守し、堅実に資 お預りした資金につきましては、 努めて参りたいと存じます。また、 メニュー を取り揃え、浜の金融機能維持に りすることはもちろんですが、もう一つの いたします。 必要としている時に適切に対応できる貸出 大きな使命であります貸出金については と致しましては、皆様の貯金を大切にお預 私ども「JFマリンバンク青森県信漁連 深い感謝の念を表しま 貸出金も 尚

えております。



程 事 長 植 村青森県漁業信用基金協会

正

治

うれしく思います。とお迎えすることができましたことを大変平成十六年の輝かしい新年を会員の皆様新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年もこれまで同様、景気の悪化物協力を賜り厚く御礼申し上げます。場、市町村、関係機関より格別の御指導、県、市町村、関係機関より格別の御指導、また、日ごろ当協会の業務につきまして、また、日ごろ当協会の業務につきまして、

景気の回復を願うものであります。民生活は大きく揺れましたが、今年こそはしている株価や市場金利の低迷等により国による企業倒産の急増、雇用問題、長期化

> 関として積極的に努力して参りたいと思い 並びに会員がより利用しやすい公的保証機 設し、今後とも浜の活性化のため、漁業者 ら、『沿岸漁業共生経営安定化資金』 業者の育成・確保が必要であるとの観点か 域の活性化のため、世代交代に伴う中核漁 成十三年度から実施した沿岸漁業推進関連 ようお願いいたします。 資金 (県漁連・信漁連・協会三者で創設) 役割を発揮することが必要であり、 皆様及び「系統団体」が一丸となり、その ますので皆様のご協力、 度は前述の資金に加え、新たに沿岸漁業地 このような時こそ、漁協並びに漁業者の お蔭様で好評をいただいており、昨年 ご支援を賜ります を創

します。 勝をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といた終りに、皆様のますますの御繁栄と御健

青森県農林水産部

いております皆様に謹んで新春の御挨拶を日頃本県水産業の発展に御尽力をいただ新年あけましておめでとうございます。

長秋谷

進

申し上げます。

りますと、漁況については、冬季から春季さて、本県水産業の昨年一年間を振り返

七年から禁輸措置がとられていたEU向けました。また、ホタテガイ漁業では、平成高など、本県沿岸資源の回復の兆しが見えに続き二年連続で大量のハタハタが接岸すに続き二年連続で大量のハタハタが接岸するなど、本県沿岸資源の回復の兆しが別調ました。また、ホタテガイ漁業では、平成であるヤリにかけて本県日本海の主要魚種であるヤリにかけて本県日本海の主要魚種であるヤリ

た年でありました。 平成十四年の漁獲量が三年連続で、 水面漁業では、 なることが明らかになりました。 このよう 放流事業を開始してから八度目の日本一に 力が高まり、漁獲金額が好調を維持しまし しているなかで、本県産シジミはブランド で開催された全国豊かな海づくり大会では、 しぶりの朗報となりました。 に「水産県青森」を全国的にアピールでき 青森市のナマコ増殖の取組みが高く評価さ さらに、「県の魚」ヒラメについては、 見事水産庁長官賞を受賞しました。 全国的にシジミ資源が減少 十月に島根県 また、 内

業の振興を図る考えです。

定・発展を支える重要な役割を担ってきままり、全国に対する水産物の安定供給の役励されている漁業関係者の皆様の御尽力に励きれている漁業関係者の皆様の御尽力に

「攻めの水産業」を積極的に推進し、水産漁業経営は苦しい状況が続いております。このため、県では、本県の基幹産業である水産業の再生・新生に向け、生産から流る水産業の再生・新生に向け、生産から流る水産業の再生・新生にあり、また、長期資源は総じて低い水準にあり、また、長期

の

輸出が再開され、

価格低迷が続く中で久

指導して参ります。 具体的には沿岸漁業においては、ヒラメ、具体的には沿岸漁業においては、生産者みずからが青森の水産物のブランド化を進めるようが青森の水産物の利用を目指した資源管理型漁魚を生産増大を図るための種苗放流等を行業と生産増大を図るための種苗が高いては、ヒラメ、リウラであります。

などへの取組みを促進して参ります。に地元水産業界が進めるサンマ漁船の誘致場確保に努めるとともに、県の指導のもとため、日本一の水揚げ量を誇るイカ類の漁業基地である八戸港の再生を図るまた、沖合・遠洋漁業については、全国

徹底や食品表示の適正化、トレーサビリティーのため、市場や加工場における衛生管理の安心、おいしいという青森ブランドの確立流通、加工については、高品質で安全・

どを効率的に行って参ります。さらには 参ります。 等への輸出拡大や海外販路の開拓にも取組 保や、イベント、物産展でのPRの展開な 費地と産地の交流会の実施、 用した産地情報の発信に取組むほか、 展著しいIT技術や新幹線の本県開業を活 品・高度加工技術の開発などにも取組んで システムの構築、試験研究機関による新商 んで参りたいと考えています。 関係機関と連携を図りながら、 また、 販売促進を図るため、 販売拠点の確 中国、 E U

いいたします。

「はの御協力、御支援を賜りますようお願いで、食料供給県としての地位を維持し、なって、食料供給県としての地位を維持し、はって、食料供給県としての地位を維持し、にいたします。

たしまして、新年の挨拶といたします。 皆様の御健勝と御繁栄を心からお祈りい





農林中央金庫

青森支店長

1

]]]

莊

います。 員の皆様、 漁協組合員ならびに漁協系統団体の役職 新年あけましておめでとうござ ますが、これは資源管理、漁場整備といっ

援を賜り、 努力を重ねておられます皆様方に深く敬意 過去に例を見ない自然災害の影響を受け、 の業務につきまして、特段のご理解とご支 を表しますとともに、 さて、 安定した水産物供給のため、日々不断の 昨年の当県水産業界においては、 心からお礼申しあげます。 私ども農林中央金庫

げます。 業団体においては漁業者の経営を支援する 多くの漁業者の皆様が罹災されましたこと 施策をいち早く講じられる等、 につきましては、衷心よりお見舞い申しあ このような事態を受け、 県 本県漁業基 市町村、 漁

係者の皆様のご努力に対しましても、 れており、これらの取組みに対する漁業関 への影響を最大限回避される策を講じら 改め

て敬意を表する次第であります。 当県は全国まれに見る好漁場を擁してい

と確信しております。この基盤をバネに、 平成十六年は漁業関係者の皆様のご努力に 盤がこれまでの難局を打破してきた力の源 のご尽力の賜物であり、この強固な水産基 た長年にわたる漁業関係者によるこれまで

年一月一日に発効した「JFマリンバンク 顔が満ち溢れんことを祈念してやみません。 基本方針」に基づき、破たん未然防止に向 方、漁協系統信用事業においては、昨

より経営環境が好転し、

浜に活気のある笑

ける不良債権処理が進む一方で、その処理 組まれております。わが国の金融機関にお システムの一層の安定化に向けた厳しい予 的資金による資本注入が施される等、 に伴い財務基盤が疲弊した金融機関には公 けたモニタリングの実施等が全国的に取り 金融

防措置が講じられております。

ます。 信用事業責任体制」を構築する必要があり そのためには一刻も早く安定した「一県 同じレベルの体制整備が求められており、 するために、業態、 り、浜に対し安定した金融サービスを提供 漁協系統信用事業も貯金者保護はもとよ 地域、規模を問わず、

申しあげます。 展望を切り開かれますことを心からご期待 英知を結集され、地元総力を挙げて明るい る兆しを見せませんが、当県漁業関係者が 漁業を取り巻く環境は、 なかなか好転す

す。 ので、 手伝いをさせていただく所存でございます 県内漁業の更なる発展のために最大限のお 私ども農林中央金庫といたしましても、 引き続きよろしくお願い申しあげま

せていただきます。 に県内漁業関係者の皆様方のご健勝とご多 幸を祈念いたしまして、 最後になりましたが、本年の豊漁ならび 新年のご挨拶とさ

全国漁業協同組合連合会

代表理事会長

植

正

年頭に当たり、全国の組合員並びにJF(わ新年あけましておめでとうございます。 沢

善に努めておられることと存じます。おかれましては必死に漁業経営の維持・改現下の厳しい漁業情勢が続く中、皆様に

し上げます。

グルー プの皆様に謹んで新年のご挨拶を申

廃問題などについては依然として厳しい状渉を支援してきましたが、水産物の関税撤僚会議には我々も代表団を派遣し政府の交・昨年九月メキシコで開催されたWTO閣

な打撃を与えて久しいものがあります。大による産地価格の低迷は漁業経営に大きられようとしております。輸入水産物の増わゆるFTA交渉が多くの国との間で進め況にあります。一方、二国間の貿易協定い

重要性を訴えて参ります。 資源の持続的利用、漁業の多面的機能等のとも、世界の貿易自由化については、水産方的な犠牲を被る訳には参りません。今後私どもはこれ以上の輸入拡大による、一

支援させていただきました。まさに海産物どもは登頂に必要な海産物の多くを提供しミナ源は海産物が最高」とのことから、私でした。三浦さんは魚介類が好きで「スタでした。三浦さんは魚介類が好きで「スターでした。 まことに明るいニュース はいが世界最高年齢七十歳でエベレスト登 昨年五月、プロスキーヤーの三浦雄一郎

動が広まっています。用するという、いわゆる「地産地消」の運元で取れた新鮮で、安心・安全な食品を利は長寿国日本を支える重要な食品です。地

ばならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。
はならないと思います。

将来を担う若者の定住にも繋がるものと思っている。さらに、下水処理施設の整備、高度を変や文化に触れられる交通アクセスの整備など地域住民の住みやすい環境づくりの構進から図られなければなりません。これがの整備を通じて都市の人々が漁村を訪れ、高度を変や文化に触れられる交通アクセスの整備など地域住民の住みやすい環境づくりの構造から図られなければなりません。これがの整備を通じて都市の人々が漁村を訪れ、漁村の事業と組入のを構を通じて都市の人々が漁村を訪れ、温民に対し安心・総と経営の改革を進め、国民に対し安心・総と経営の改革を進め、国民に対し安心・温が高い。

浜を再生していくことです。に管理・利用していく対策を確実に実践し、が国沿岸水域の資源の回復とこれを持続的、そして何よりもまして重要なことは、わ

ております。金融機関への健全性確保の動 ドグループのセーフティーネットを整備し業責任体制」を構築することを柱としたJ平成十七年十二月末までに「一県一信用事工た、JF (漁協) の信用事業の面では、

傾注しているところであります。る役割を的確に果たしていくための努力をきが強まるなかでも、漁業金融に求められ

なければなりません。

なければなりません。

なければなりません。

を著が果たしている役割の重要性をしっ

は社会が厳然としてあります。わが国農林

し、国にはその国の歴史と文化があり、地

て一層急激に進むものと思われます。しか

経済のグローバル化は世界的な流れとなっ



代表理事会长 佐々木全国共済水産業協同組合連合会

護

を迎えて「漁協元受二〇周年」

債権処理や急激な円高など不安材料で先行さて、わが国経済はデフレの進行、不良お礼を申し上げます。済に関しまして格別のご愛顧を賜り心から済に関しまして格別のご愛顧を賜り心からておめでとうございます。旧年中はJF共全国津々浦々の漁村の皆さん、あけまし

き景気への不透明感が高まっています。

少と高齢化の進行にともない、漁業・漁業魚価の低迷等にくわえて、漁業就業者の減漁業・漁村においては、漁業生産量の減少、加えて、JF共済の事業基盤であります

ころです。 と
ころです。
ころです。
ころです。
と対処するため、JFグループは一年とづき組合員・役職員の行動規範となるにおいて決定したJFグループの事業・組において決定したJFグループの事業・組において決定したJFグループの事業・組において決定したJFグループの事業・組合がの完遂と事業改革に取り組んでいます。
ころです。
ころです。

ため、十六年はJF共済漁協元受二〇周年運営は非常に厳しい状況にあります。この長の停滞、運用利回りの低下等、その事業JF共済 (共水連) においては、事業量伸こうした事業環境の急激な変化のなか、

し上げます。

かいご支援とご協力に衷心より厚く感謝申

な役割を果たして参りました「ぎょさい」

浜である」との認識のもと、引き続き、 ならないと考えます。 とともに、 強化によって「共済自立漁協」を構築する 「めざせ!共済自立化運動」のいっそうの の節目にあたる重要な年であり、「主役は 所期の目標達成を期さなければ

共水連においても、 JF共済を安心して

わりますよう、切にお願いを申し上げる次

年におきましても、共済事業の運営につき 基盤の強化に邁進する所存です。 どうか本 を着実に進め、経営の健全性の確保と事業 運用やリスク管理の向上に向けた基盤整備 ご利用いただくため、さらに安定した資金 まして、引き続き皆様の特段のご高配を賜

第です。

とさせていただきます。 躍を心からお祈り申し上げ、 の発展と皆様方のますますのご健勝、ご活 最後になりましたが、本年のわが国漁業 新年のご挨拶



全国漁業共済組合連合会

や漁業者の新たなニー ズに応えるべく制度

「ぎょさい」は急速に変化する漁業情勢

新制度の活用により 会長理事 境は長引く経済不況のもとに

しております。

ので、 くお願い申し上げます。 られますよう力強く前進したいと存じます 携えて、新時代の漁業と漁村づくりのため 密接な連携のもと本年も漁業者の皆様と相 国、地方公共団体、漁協系統団体等との 「ぎょさい」がますます浜の期待に応え 引き続いての皆様のご支援をよろし

なりました。 この間の漁業者の皆様方の暖 も本年は制度発足四十周年を迎えることと 新春にあたり本年の豊漁と安全操業を心 漁業経営の安定と災害対策に大き 明けましておめでと これまでにも増して制度の普及に組織を挙 産資源の減少、更には台風、 ら全く無縁な漁業・養殖業はないとの実感 大規模な災害が頻発するなど誠に厳しい状 げて取組んでいかなければならないと痛感 「ぎょさい」の役割を一層果たすためには 益々大きく高まっており、これに応えて からの「ぎょさい」に対する期待と関心は 況にあり、今や全国の浜でこれら災害等か 巨大クラゲの異常発生等全国各地において あって、昨年をみましても魚価の低迷、 を強めております。 このため浜の漁業者、 漁協系統の皆様方 赤潮、 魚病、 水

ろであります。

て参りたいと、決意を新たにしているとこ し、全国的な加入推進運動を強力に展開し す「全ての漁業者のぎょさい加入」を目指

達成するとともに、

新運動の目標でありま

さい総加入運動21』の三年目の加入計画を き続き新制度の普及定着を図り、『新ぎょ 成果をあげることができました。

本年も引

なったことから、昨年は加入拡大に大きな が大幅に改正され、より一層加入しやすく

うございます。

全国の漁村の皆様、

からご祈念申し上げます。

さて、

普遍的加入の実現を

ご承知のように、 最近の漁業を取巻く環





会代

理副

青 県漁業協同組合連合会

監 表 監 事 事

中

村

岩太郎

推

進

本部長

植

村

正

治

ほ

か役職員

同

柳

谷

全国共済水産業

代

熊

谷

拓

治

青森県漁業共済組

組

合長理事

本

ほ

か役

人職員

同作

坂合

赤 角 立 ほ 石 石 か 田 職 員 憲 順 政 同 男

務 表 務 理 理 理 事 事 事 事長 長事 木 後 久 西 植 保澤 村 藤 崎

専

常

理

手 間本 亀 政 信 治 正

村 亮 義 三 丞

正 治 青森県漁船保険組

森県漁業信用基 理 事 長 金協

植 村 正

治

ほ か役職員 同

副 組合長理事 合 立 石 政

(協同組合連合会青森県事務所 ほ か役職員 一同 男

(順不同)

青森県漁港協会

長 平 ほ 沢

か役職員 同

青森県信用漁業協同組合連合会

代表理事会長

ほ

か役職員

同



青森県漁村活性化対策協議会

植

ほ

か村

青森県漁船海難防止·水難救済会

植

ほ

か村

新

青森県漁業経営安定対策本部

植

ほ

か村

役員正

同治

むつ湾漁業青色申告会連合会

むつ湾漁業振興会

長

Ξ

ほ津か谷

役員廣

同明



		1	1	
	(社)青森県水産振興会		会	(社)青森県漁協経営安定
	長		長	対策協
	植		植	会
	村	ほかな	村	
役員	正	役員	正	

(社)青森県ほたて漁業振興基 金 植 ほ

(財)青森県沿岸漁業振興協会 植 ほ か村 役員正 同治

か村 役員正 同治

青森県水産業改良普及会

貞正 同治

同治

青森県東部海域漁業協議会

役員正 役員正 同治 同治 青森県漁協女性組織協議会

会 長青森県さけ流通振興協会

理 事

青森県小型いか釣漁業協議会

植

ほ

か村

役員正

同治

青森県ほたて流通振興協会

事

植

正

ほ

員

か村

青森県漁業環境保全振興協会

植

ほ

か村

役員正

同治

青森県漁業経営指導協会

長

ほ植

か

青森県さけます増殖振興協会

植

ほ

か村

役員正

同治

植 ほ 正

か村 役 員 同治

ほ か田 役 員 昌 同夫

長

前

ほ

はか役員

同治

長 金

漁船海難遺児を励ます青森県地 植 植 養 会 ほ い役員野英 同幸

青森県漁協専務参事会

後 ほ か役員 同巧

長

赤 ほ か 役員

石 憲 同二

長

青森県定置漁業協会

長 西

ほ か崎 役 員 義 同三

細 ほ か 汌 役員 慶 同子

長

エチゼンクラゲによる

被害対策に係る要請

いる。 も見舞われ、 発生したエチゼンクラゲの大量入網により 漁獲減少、漁獲物の品質低下、 月下旬から日本海、十月中旬には津軽海峡、 太平洋沿岸において、昨年に引き続き大量 本県の定置網、 更にはクラゲ除去のための過重労働に 経営が逼迫する事態に陥って 底建網、 刺網漁業では九 魚価の低落

状況にある。 十二月下旬になってもまだ減少傾向にない にならないほどの大量発生となっており、 大量発生したことはなかったとのことであ このクラゲは、過去に二年以上連続して 現実に今年も発生し、昨年とは比較

漁業協会では、国 問題となっている。 においては深刻な ことから漁業経営 な排除方法もない はいまだ解明され クラゲの発生原因 また、エチゼン 効率的 県定置

ておらず、

クラゲが大漁に入網している古川漁業部定置網

ている。 発生原因の究明、 の窮状を訴え、クラゲ被害に対する支援策 被害防除対策等を要請

エチゼンクラゲに係る 地被害調査

H 時 平成十五年十一月十 日

場 深浦町大戸瀬

視察漁業部 古川漁業部

の外へ出す作業が行われた。 い魚カギのようなものを使ってクラゲを網 しているため網を揚げることが出来ず、 クラゲの被害状況について調査した。 ているため網を揚げることが出来ず、長漁場では、定置網に大量のクラゲが入網 県漁連、 古川俊組合長所有の定置漁船に乗船し、 県定置漁業協会では、 大戸瀬漁

であった。 が三、○○○匹位は入網しているとのこと 全て排除した時点では、カワハギ、シマダ イを合わせて三~四㎏しか漁獲されなかっ 網の中には魚は殆ど見られず、クラゲを

古川組合長の話では、前日よりは少ない

が多くなってきた、徐々に減少することを態が変化してきており、死んでいるクラゲ 古川組合長は、 入網しているクラゲの状 死んでいるクラゲ 気づける救済策を ている。

漁師を勇

望んでいるとのことであった。

木村農林水産大臣政務官 クラゲ被害状況調査

場 \mathbb{H} 所 時 平成十五年十二月四日~ 大戸瀬漁協 五日

二沢市漁協

五日

協を訪れ、 いるエチゼンクラゲの被害状況について、 十二月四日に大戸瀬漁協、 木村農林水産大臣政務官が大量発生して 調査を行った。 五日に三沢市漁

状況を説明した。 で県定置漁業協会の西崎義三会長らが被害 大戸瀬漁協の古川俊組合長、 われたクラゲの被害状況説明会では、 四日 深浦町農村環境改善センターで行 県漁連副会長

いる。 労力も限界にきて 盛期で、クラゲの サケ、ブリ漁の最 西崎会長は「今は ことである」と、 いるのに獲れない 情けないのは魚が にも大きく影響し 大量発生は水揚げ

木村政務官に要請書を手渡す西崎会長

まで網からクラゲを排除する作業に追われ、この中で古川組合長は「漁師は朝から晩

1 1

除去のため漁場清掃を実施すること

海底に沈んだエチゼンクラゲの遺骸

支援策を講ずること

被害を受けた漁業者を救済するため

エチゼンクラゲの効果的な入網回避

方法を開発すること

訴えた。 願いしたい」 と

Ŧ.

除方法を開発すること

入網したエチゼンクラゲの効率的排

明し被害防止策を講ずること

エチゼンクラゲ大量発生の

原因を究

せて早期に支援策 生原因の究明と併 考え、クラゲの発 者の生活を第一に 村政務官は「漁業 と述べた。 を図っていきたい これに対し、 木

崎会長から県漁連 才上映終了後、 被害実態のビデ 西

クラゲが入網しており、

定置網には大量の 魚の姿は見られな



に手渡された。 【要請内容】

クラゲが大漁に入網し ている三沢沖定置網

漁船に乗り込み、現場を視察する木村政務官、澤口組合長 ともに漁場を視察した。 り込み、三沢市漁協の澤口政仁組合長らと いてクラゲ被害を調査するため、

かった。 業関係者との懇談会で木村政務官は「漁場 に伝え、対策を検討していきたい」と述べ 分かった。視察の結果については直接大臣 のクラゲを見て、 その後、 漁民研修センターで行われた漁 改めて皆さんの深刻さが

の優遇緩和等を検討してほしい」と訴えた。 い」と、百石町漁協の木村民二組合長は 生活が成り立つように検討していただきた 刺網も同様に被害を受けている。 漁業共済の早期支払、 澤口組合長は「定置網だけでなく、底建網、 沿岸漁業改善資金 漁業者の

って下記のとおり要請いたします。

網漁業者等、

三村申吾県知事及び 野正蔵県議会議長

去る十二月十二日、 西崎義三副会長、 後藤亮丞専務理事、 県漁連 植村正治会

> 県定置漁業協会役員が、県に対しクラゲに よる被害対策について要請を行った。

とは思うが、 待をかけ秋網を入れたが、クラゲにより全れ、西崎副会長が「サケ、ブリに大きな期 く獲れない状況である。県の財政も厳しい 植村会長から三村知事へ要請書が手渡さ 低金利の融資をお願いしたい

これに対し、三村知事はと訴えた。 系統団体などの対 「地元市 町 村 B

更に木村政務官は5日、

三沢市漁協にお

漁船に乗

早期伝達体制を確立すること

の効率的な処理方法を開発すること

船上・陸上に揚げたエチゼンクラゲ

エチゼンクラゲの発生・回遊情報の

生態、 ともに、国や各県 利子助成を検討し 経営資金に対する をしていく考えを ついての情報交換 とクラゲに関する たい」と述べると 応を踏まえながら 回遊経路に

示した。 手渡された。 会議長へ要請書が 会長から上野県議 接室において植村 その後、 議長応



上野議長は

上野県議会議長に要請書を手渡す植村会長



三村知事に要請書を手渡す植村会長

12

青森県漁業信用基金協会 創立50周年記念式典

- 式典には、三村県知事、木村農林水産大豆政務官で開催された。および祝賀会が十月二十七日、県水産ビル大ホールー 青森県漁業信用基金協会の創立五十周年記念式典

協等多数が出席し、盛大に行われた。を始めとして、関係機関、市町村並びに会員たる漁、式典には、三村県知事、木村農林水産大臣政務官

たす所存である」と挨拶を述べた。 証制度と本県水産業の発展のため、不断の努力をい今後とも取巻く環境は厳しいものと思われるが、保設立されてから半世紀を迎えることは感無量であり、その振興を図ることを目的として、昭和二十八年に「中小漁業者が必要とする資金の融通を円滑にし、「虫のでは、主催者を代表して植村正治理事長が

信用基金総括理事が祝辞を述べた。政務官、日出漁業信用基金中央会長、野崎農林漁業ののあと、来賓の三村県知事、木村農林水産大臣

むつ市漁協組合長の万歳三唱で滞りなく終了した。と、平沢深浦町長の乾杯の音頭で祝宴に移り、木村育英事業への記念寄付金贈呈を最後に式典を終えた。事長表彰 (秋山皐二郎ほか一名) を行い、海難遺児永年勤続役職員表彰 (植村正治ほか四名)、歴代理引き続き、優良会員表彰 (平内町漁協ほか八単協)、



祝辞を述べる三村県知事



祝辞を述べる植村理事長



祝辞を述べる木村政務官

式典風景



祝辞を述べる野崎総括理事



祝辞を述べる日出会長

古

発

協

숲

副

会長

等

数

々

0

要

職

あ

って青森県

流漁業

0

振

興

発

展

献している。

長

を

は

U

8

青

森

県

沿

岸

漁

場

開

平原十五年度漁協道動

から

を

顕

和の

一夕

として

年

青

資

は、す

れ 十成 五. 年 度 回 協 門運 パ動 ス功 労者 1 ラ ル表 に 彰 お式 いが

推組 進織 じ あ め る 11 には植り場が 多大な貢する」に 正 組 織 J に F お全 と主催者矣ることの漁協軍 産大臣政務官が亀井と主催者挨拶を述べ い漁 連会長 年長だ 浜 りの 漁現 善之農 来協運、賓系動系

業

が挨拶した。平組合長(JF杭いて、表彰なれて、表彰な \mathcal{O} 功労章は、 協 田漁連会長、大功労者を代す、植村会長な J 表しら F 和鳴賞 歌嶋 され、長年活 者 Ш 洋 信 人 活 漁 J F ひと 今動年し 連 理

が受賞された。 古川俊丁 J F 昭動 大戸 瀬 漁 JF大戸瀬組合長 協 湖組合長-に制定 (JF青森信漁連会長) 俊 \prod Ĵ F

> 功 の内

7

業推 で 振 はじ 業 森 協会監 遺 県 協 源 漁 興 に 憾 7 協 11 向 る。 業 進 協 貢 上 な 優 る 年に \bigcirc \emptyset 同 西 同 傍ら、 会理 と組 組 協 部 献 < れ 組 口 0 事をは 発揮 た指 合 更に、 復 IJ 議 青 海 L 百 کے 1 事、 合 連合会代 会委員 7 代 り 森県さけ 区 |漁業調 維持 ダ 41 導 じ 定 L 表 事 青 る。 力と 理 め 青 業 青 森 置 を 森 として 森 漁業 事 県 0 網 勤 また、 表 取 県 整 統 大戸 県 ま 更 組 定 漁 委員 な 生 栽 す 理 信 8 率 合 り 置 業 事 漁 培 増 る 産 長 瀬 漁 力 組 に 用 会 性 業 漁 青 発 漁 を 漁 従 W 沿 殖 を

展

0

産業協同組合の業務報告書基準様式 部改正に伴う説明会

する 説明会」が開催された。 三十分から青森 平成十五年十二月十二日 「業務報告書基準様式一部改正に伴う 青森県漁協経営安定対策協会が主催 県水産ビル六階研修室にお 午後

告書基準様式」

が見直され

平成十五年

これらに伴い

「水産業協同組合の業務報

から適用されることから、「業務報告書基 月一日以降開始する事業年度の業務報告書

算書、 いたが、 瞭な決算関係書類等を作成することが義務 効果会計、 書及び附属明細書並びに計算に関する省令_ 組合の業務報告書、 により、 正する法律 める公正な会計慣行の斟酌等が準用されて 産業協同組合法 の規定に基づき、 (平成十四年農林水産省令第九十五号。 同様の規定が適用されることとなった。 ても、 これにより、信用事業非実施組合等にお 一業務報告書等に関する省令」という) 附属明細書に 信用事業非実施組合等に対しても、 業務報告書、 今回水産業協同組合法等の 退職給付会計も含め、 (平成十四年法律第七十五号) の規定によって、 会計原則等を遵守し、 貸借対照表、 ついては 貸借対照表、 「水産業協同 正確で明 損益計算 商法で定 損益計 一部改

> である。 開催したところ 伴う説明会」を 様式一部改正に

従前は、

信用事業実施組合等に対し、水

り、 を整備 う取り組んで を確保できるよ 把握できる体制 表等の作成によ る適切な財務諸 書基準様式によ ただきたい。 の経営の健全性 合の経営状況を この業務報告 組合員が組 組合



説明をする杉田氏

説明を聞く参加者

付けられた。

F 経営動向把握 ム導入

じた、 業 全経営の確立を目的とした組織再編を通 を決議し、 頼に応える自立JFづくりに向けて、 ・組織・経営改善に向けた運動方針」 経営改革に取り組んで行くことと 自己責任経営による自立・健 ープでは、 組合員の期待と信 につ 事

迅 図るため、 確 速に その な業務報告書作成および作業の軽減を .把握できるシステムの整備と、正 環として、各漁協 JF経営動向把握システムを の経営動向を

しております。

導入することとなりました。 .おいても内容等を説明しておりますが、 今回の基準様式一部改正に係る説明会

度の高 会員組合の御協力を得ながら、 に いものにしていかなければなりま より完成

をかけますが、 D (フロッピーデ すでに配布しております ィスク) へのデー タ

会員組合の担当者の方には大変ご苦労

入力をよろしくお願い致します。 ては、 なお、 説明会でお願いしましたとおり、 県漁連への入力データ提出につ

ただくこととしておりますので、よろし平成十六年一月十五日までに送付していFD (フロッピーディスク) に保存し、

15

せん。

お願い申し上げます。

第31回「油をきれいとする道



表彰状を受ける 三厩中3年 栁谷隼君

「全国海の子絵画展」



祝辞を述べる秋谷農林水産部長



主催者の挨拶を述べる植村県漁連会長

運

むつ湾の公害絶滅・

漁場

むつ湾漁業振興会と青森県漁業協同組

合連

もので、 彰式が行われました。 月二十六日 (金) に青森県水産ビルにおいて表 四二一点の応募があり、 な審査の結果、 品募集をしたところ、 海底清掃が行われました。 毎年七月二十日~十月三十一日まで展開される つ湾の海をより美しいものとする事を目的に、 備を図り、資源保護・自然環境保全に努め、 成果を上げて終了致しました。 | | | | | 点、作文七二点、 する小・中学校を対象に海をテーマとした作 また、この運動の一環としてむつ湾沿岸に位 この運動

六回 校二点) につきましては、. この中で図画の優秀作品

優秀作品が決定され、

図画一〇三点、

ので、ご来館の際は是非ご覧いただきますよう水産ビル2Fギャラリーへ展示致しております びに学校関係者に対し、厚くお礼申し上げます。 お願い申し上げます。 本年も引き続きこの運動を展開して参りますの げます。 尚、入賞された作品につきましては、 本運動にご協力をいただきました関係 何卒ご協力をいただきますようお願い申し 並



表彰式会場風景



今年も各漁協の協力のもと海岸清掃

せ

表彰者、関係者による記念写真

第31回「海をきれいにする運動」作品審査結果

《図画の部》

[小学校] 第26回全国海の子絵画展出品(小学校)6点 [小学校]

賞 名	学校名	学 年	E	モ 名		備考
特 選	久栗坂	2年	柳~	うあ	いり	第26回全国海の子絵画展出品
準特選	西田沢	1年	やまた	ぎ ま	み	"
"	原別	6年	中柞	寸 治	紀	"
佳 作	平 舘	1年	ふくし	たか	ひろ	
"	油川	"	田 月	コ 和	希	
"	久栗坂	2年	逢り		れは	第26回全国海の子絵画展出品
"	山口	"	三」	. 凌	平	
"	東	"	船格	喬 綾	香	第26回全国海の子絵画展出品
"	"	"	山峰	র্	涼	"
"	油川	3年	斎菔	優	丞	
"	"	4年	今	祥	太	
"	第一田名部	"	杉本	2 真	夕	
"	馬門	5年	柴 日] 貴	紀	

[中学校] 第26回全国海の子絵画展出品(中学校)2点

賞	名	学村	交名	学 年		氏	名		備考
特	選	三	厩	3年	栁	谷		隼	第26回全国海の子絵画展出品
準準	寺選	,	,	"	内	木	俊	_	"

《ポスターの部》

賞名	学校名	学 年	氏 名
特選	平 舘	1年	えびなよういちろう
準特選	小 湊	5年	佐々木 勇 輔
"	三厩	6年	田中千洋
佳 作	西田沢	1年	市川明歩
"	"	"	溝 江 敢 太
"	油川	2年	吉 崎 理 来
"	小 湊	3年	中谷瑞希
"	大 湊	"	藤田智之
"	原 別	4年	藤木美咲
"	小 湊	5年	荒川千穂
"	南 部	"	石 井 絵梨香
"	東	6年	船橋一哉
"	"	"	小 形 碧
"	"	"	江 戸 北 斗
"	宿野部	"	光谷睦美

[中学校]

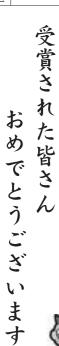
賞名	学校名	学 年		氏	名	
特選	星 三 厩	1年	成	田	裕	人
準特達	mu //	"	秋	田	敬	太
"	横浜第二	3年	沖	津	結	口
佳 作	三厩	1年	伊	藤	里	穂
"	"	"	鳴	海	和	樹
"	"	"	=	上	寿々	₹子
"	"	"	柳	谷	亮	太
"	"	3年	杣	谷	大	貴
"	角違	"	濱	田	梨	沙

《作文の部》

賞 名	題名	学 校 名	学 年	氏	名
特 選	平成二十年 美しいむつ湾を夢見て	横浜中	1年	杉山	将 太
準特選	かけがえのない海を大切に	大 湊 中	2年	坂 元	優仁
"	海からのめぐみに感しゃしよう	第一田名部小	4年	二本柳	光 毅
佳 作	きれいでありたい	横浜中	3年	佐藤	礼 香
"	私達の海	大 湊 中	2年	西本	早 耶
"	地球のために	蟹田中	2年	石 岡	悠 乃
"	たった一つのできごとで	大 湊 中	2年	寺 島	聡 美
"	海をきれいにしよう	馬門小	5年	荒川	美 穂
"	みんなのために	宿野部小	5年	高島	夏 希

《標語の部》

賞 名	題名	学 校 名	学 年	氏	名
特 選	青い海 守って育てる あしたの漁業	第一田名部小	5年	畑中	潤
準特選	青い海 負けずにはりあう きれいな海	大 湊 小	5年	新川	麗 美
"	そのゴミが みんなの海を 傷つける	馬門小	5年	横浜	夏 美
佳 作	きれいな海が あなたの心に ありますか	蟹田中	3年	小笠原	美 穂
"	むつ湾の 環境守って 幸育つ	横浜二中	2年	笹 野	杏 里
"	ポイ捨ては 海がよごれる はじまりだ	第三田名部小	4年	山本	由 衣
"	捨てる度 あなたの海は 汚れてく	蟹田中	3年	長 利	愛
"	キラキラと かがやくうみが だいすきだ	第二田名部小	2年	細川	怜 生
"	むつ湾の きれいな青を 守りたい	横浜二中	2年	渡 邉	詩 織
"	青い海 人の心で まもろうよ	第一田名部小	6 年	伊 藤	尚 樹
"	ポイ捨てが ふるさとの海を なかせてる	蛎 崎 小	5年	飛内	恵
"	ちょっとまて 海には たくさんの命	野内小	3年	横内	さつき





作文の部

『平成二十年、美しいむつ湾を夢みて』 浜町立 横浜中学校 — 山 年 将 太

さた町

た前、

ッ



杉山将太君 作文を朗読する

の新聞には、横浜 ではずなのに…。 ではずなのに…。 ではずなのに…。 が捨ててあった。そして、大きいでですっと続いていた。ションスやこたつ、車いす、とらいってですった。そして、大きいってがあったが治ってがあった。そして、大きい層の一番上の表面部分だよ。 沿おのがタ ケ員 こみが海岸線にハットボトル、 とうろう等ん。そこには郷の横浜町鶏 大きなごみ ٠ ١

ん中地 だ。 部分だよ。 たくさん れたご んあるのは

て近明掃 てく つ V 詳 L $\langle \cdot \rangle$ 町 の 柏 谷 うさん

いくしに そ るで、の、 にれの なはが僕れて た色スのは白い スついも 泡 スチ ロ た の し っ が 1 が -ルだっい 世帯に

> とへらず き 1 た。 固まり だ け 取 つ 7

> > 次

と泡 つ た。 魚が、 (が食べちゃく) 大生が、 やが う粉 ね々 に なっ た 5

たたく口僕とき「すのは。。,、」は言っ発る場取 十砂ル先 や草のでを拾った 分位でごみの袋は の間から取るのった。軍手では一生懸命粉々に いっぱ のはに はつなかっ 変だっらたスチ いになっ

後ろから町のボランティアの方も来後ろから町のボランティアの方も来話し合った。 だいしょ しょうたいだ は は 学校に戻ってから、対策を練ることにした。グループごとに「美したんだけどさあ。」と言っていた。 を達は学校に戻ってから、対策を練ることにした。グループごとにした。 が海をとり戻すには」というテーマで おし合った。 ッて : その山が出 できたの

た発出犯。表さカ 力始 れた。しかし、グループどうしのメラを設置するなど安易な意見がめは、海にごみ箱を置くだの、防 をれ して、 次 のような対策を考え

生校ま 方にもは うーっ は協組は、 カしてもらうこと。 4 海をきれ 呼びかけ。 込湾 み、 岸清 保掃 い。標語や作文、 護を 吸者の方にもど学年行事や

先学

広

とう さら持 がけ 大 事だと考えた。 ってもらうこと と、学んだことを広め海への影響を学ぶ機会 会をも

食べ、 こ一滴? 実際 家庭用のよ は 次の の大きさの水に、ようなことを学 た魚を 大型魚 人になる 人が

果では、「自分は、 な さっ

り間に イェーン・ り間が食べている恐ろしさ。 食べ、最終的に毒の濃くなった魚は 食べ、最終的に毒の濃くなった魚は 食べ、最終的に毒の濃くなった魚は 間が食べている恐ろしさ。 と思ったことがある。それは「自 と思ったことがある。それは「自 と思ったことがある。それは「自 と思ったことがある。それは「自 と思ったことがある。それは「自 と思ったことがある。それは「自 と思ったことがある。それは「自 とのだと思う。ポイ捨てぐらい、 ターー個くらい、ペットボトル らい…。皆も捨ててるからいい。 なくていいや…。 なくていいや…。

た歩に番 呼 く そうだ。 使 美昭びこ 和けないですい L 下志 れい れたそうだ。美-二十六年―。この二十六年―。この つ 志麻さんが画面に広がたそうだ。美しい海岸場所だと言って、映画十六年―。この海はタ た考えを変え 強く思う。 7 V くよ 画 が岸 9 つ沿 の日 撮が てい撮がいを影一 う に

本平 ☆はつくっていきたい。 美しい心を持つ人々…そんな未然二十年─。日本一、美しい海。

主放水道区周5名副号 (10F~12F))

10 月				
1日(水)	JFマリンバンク青森県本部委員会・幹事会	青	森	市
1日(水)	漁協合併推進勉強会	鯵	ケ沢	, E
3日(金)	青森地区漁協合併小委員会	青	森	市
5 ⊟ (⊟)	全国豊かな海づくり大会	島	根	県
12⊟(⊟)	第4回青森県育樹祭	+ :	和田	市
14日(火)~15日(水)	合併等推進全国会議、合併実務研修会	東	京	都
14日(火)~17日(金)	秋季ホタテガイ実態調査	む	つ	湾
16日(木)	さけに関する現地協議会(太平洋)	東	通	村
16日(木)	全国漁港漁場大会	佐	賀	県
17日(金)	さけに関する現地協議会(日本海)	深	浦	町
17日(金)~18日(土)	全国シジミシンポジウム会議		川原	湖
24日(金)	漁協合併推進研修会	青	森	市
27日(月)	青森県漁業信用基金協会50周年記念式典	青	森	市
28日(火)	青森県ホタテガイ産業活性化推進検討会	青	森	市
29日(水)	税務研修会	深	浦	町
30日(木)	上磯三漁協合併勉強会	蟹	\blacksquare	町
11 月 6日(木) 11日(火) 11日(火) 12日(水)~14日(金) 13日(木)~14日(金) 14日(金) 17日(月) 18日(火) 21日(金) 25日(火) 28日(金)	今別町漁協合併研究会 青森県ホタテガイ産業活性化推進検討会 エチゼンクラゲ発生に関わる現地調査 合併漁協職員等実務研修会 青森県マリンレディース研修会 東部海域協議会とトロール組合代表者との意見交換会 太平洋地区漁業者協議会 漁場環境保全方針策定検討会 漁協運動功労者表彰式 下北ホタテガイの集い 市浦村漁協合併研究会	今青深福青青む川東む市	別森浦岡森森つ内京つ浦	町市町県市市市町都市村
12 月 1日(月) 4日(木) 5日(金) 5日(金) 9日(火) 12日(金) 16日(火) 19日(金) 26日(金)	海面養殖高度化推進対策事業 木村政務官へのエチゼンクラゲ被害に係る要請 木村政務官へのエチゼンクラゲ被害に係る要請 第31回「海をきれいにする運動」作品審査会 青森県東部海域漁業協議会通常総会 業務報告書基準様式一部改正に伴う説明会 むつ湾地区漁業者協議会 上磯三漁協合併勉強会 第31回「海をきれいにする運動」作品表彰式	青深二青青青青蟹青	森浦沢森森森森田森	市町市市市市市町市

県内漁協職員紹介

十三(じゅうさん)漁協、 脇元(わきもと)漁協

- 2. 担当業務 1. 氏
- 3. 趣味・特技 4. 自己 P R



市浦村は、津軽半島の北西部の日本海沿いに位置し、総面積111.75kmの 約5分の1を占める十三湖は、海水と淡水からなる汽水湖で、日本海にそそ ぐ母なる岩木川の河口であるとともに、全国的に有名なヤマトシジミの主産 地で年間約2,600~の水揚げがあります。

見所は中世に日本海交易の重要拠点として栄えたとされる十三湊遺跡(中 世の港湾都市)などの史跡、十三湖中の島ブリッジパーク、温めた海水を利 用した健康増進施設「し~うらんど海遊館」などです。

今回は、市浦村内の十三漁協、脇元漁協の皆さんをご紹介致します。



十三湖風景

渔 協



- 1. 相坂 泰史
- 2. 参事
- 3. パチンコ
- 4. 虚弱体質



- 1. 相坂 美代子
- 2. 会計主任
- 3. 運転手(主人) 付のドライブ
- 4. 口は出すが手 は出さない十三 漁協の仕切り屋です。



- 1. 小笠原 浩治
- 2. 共 済
- 3. アマチュア無 線
- 4. 最近メールに はまっています。



- 1. 小山内みちる
- 2. 販 売
- 3. ポイントカー . ドのポイント集 め、ナンバース 3(ミニ)
- . おやじギャグなら超一流。 職員同士のコミュニケーショ ンにも活用しています。



- 1. 渋谷 祐一郎
- 2. 販売、購売
- 3. サッカー
- 4. 最近、友達から もらったトリビ アの「ヘぇーボ

タン」をビビる大木ばりに押し まくっている。



- 1. 工藤 千木
- 2. 購買担当
- 3. ギター、車 (洗車)
- 4. 当方(G)、 全パート募集、 又は加入希望。

デスメタルのみ。



十三湖中の島ブリッジパーク

脇元漁協



- 1. 後藤 政子
- 2. 全 般
- 3. 山菜採り
- 4. マイペースで